令和７年６月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質　問　者	日程
1	16	鈴　木　一	９日（月）
2	2	川　辺　きのい	
3	13	佐　藤　剛	
4	3	大　平　剛	
5	4	目　黒　哲　也	
6	14	寺　口　友　彦	
7	8	永　井　拓　三	１０日（火）
8	6	田　中　せつ子	
9	11	塩　川　裕　紀	
10	19	桑　原　圭　美	
11	5	梅　沢　道　男	
12	7	中　沢　道　夫	１１日（水）
13	18	牧　野　晶	
14	15	中　沢　一　博	
15	17	塩　谷　寿　雄	
16	9	勝　又　貞　夫	
計		１６名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式：　全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。（初回は登壇して行い、質問回数は３回まで。）

一問一答方式：　質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式：　一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

質問順位	質　問　内　容
1 議席 16 鈴木一 （一問一答方式）	**1　冬季降雪時のメディアの報道について** 今冬も降雪のたびに、除雪をしている特にお年寄りに、メディアがインタビューし「雪片づけ大変ですね。」と声をかける。大変なことは当たり前で、有史以来雪と戦ってきた。この地を逃げ出したいという人は少ない。あまりにもドラマ仕立てのような報道である。 （1）こういう報道に対して市長はどう感じているか。 （2）メディアに対して言うべきことはないか。 （3）移住定住等に何らかの影響は出ないか。 **2　公共施設のデザイン・ビルド方式について** （1）コンサルが参加する必要があるか。追加工事は誰の責任か。 （2）工事費の妥当性を検証できるか。 （3）市で管理者を育てていかなければならないと考えるが。 （4）プロポーザルの段階で見積もり、図面が完璧ではないのか。 **3　無人駅の安全対策について** 以前に一度質問したが、無人駅は非常に無防備である。無人駅の安全対策は以前より進んでいるか。今以上のことが望めないなら、地域との連携も考えるときが来ていると思うが、市長の考えを伺う。

質問順位	質　問　内　容
2 議席 2 川辺きのい （一問一答方式）	**1　高齢者の日常生活を支える施策について** （1）介護人材確保緊急5か年事業は最終年度である。新たな支援事業の立ち上げについて見解を伺う。 ①介護人材の確保は深刻な状況が続いている。働いてみよう、働き続けられると思う人が増えるためには、新たな支援事業をメニューの点でも予算規模の点でもより充実すべきではないか。 ②その際、介護事業所はもちろん、事業所で働く人たちの要望や悩みを把握し、新たな支援事業に生かすべきではないか。 ③訪問介護の需要はますます高まるものと考えるが、訪問介護事業所の倒産や閉鎖、あるいは事業縮小せざるを得ない事態が全国で起きている。訪問介護事業所への財政支援が急務となっているが、認識は。 ④根本的な解決は介護報酬の引き上げである。介護報酬改定を待たずに、緊急の改善を国に求めてもらいたいが、いかがか。 （2）「国民年金で入れる介護施設を」の願いに応える施策について **2　住民が豊かな人生を送るための移動手段の確保について** （1）新たに南魚沼市地域公共交通計画が策定された。現状や課題などがよく分析され、それに基づいた将来像、基本方針、基本目標と目標を達成するための事業が提起されている。中でも、市民や利用者のアンケート調査の結果に注目し、要望に応えることが最も大切ではないか。 （2）市の事業として、重点的に具体化すべき課題は、市民バスの利便性の向上と予約型乗合タクシーの導入ではないか。 （3）鉄道や路線バスなど、既存の公共交通の減便や冬の運休の影響は深刻であるが、どう対策をとるのか。

質問順位	質　問　内　容
3 議席 13 佐藤剛 （一問一答方式）	**1　世界レベルの地球温暖化問題を一自治体としてどう進めるか** 市は地球温暖化対策として地球温暖化対策実行計画を策定した。2030年の温室効果ガス排出量50%削減を目標に掲げているが、市民皆で対策する意識の向上とどう行動に結びつけるか。さらには2050年の実質ゼロに向けたゼロカーボンシティ宣言を行ったが、実現に向けた長期的な戦略はあるか。 **2　新健診施設と地域完結型医療の充実で市民の健康増進を** （1）新健診施設は、健康寿命延伸につなげる行政の連携拠点になり得るか。 ①新健診施設での人間ドックも含む各種健診の受診者数の見込みと、そのための受診しやすい環境整備をどう進めるか。 ②健診結果のデータ化による分析、活用で健康寿命を延ばすための保健行政、予防医療の充実につなげる連携体制強化と健康増進の取組を考えているか。 （2）地域完結型医療体制の充実で、市民の医療需要を優先した病院事業の運営を。 ①市民病院での一般病床、地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床の病床運営の現状と稼働状況はどうか。 ②大和地域包括医療センターの機能は大和地域包括医療センター構想提案書（素案）で示した5つの機能の取組に沿って進めているか。 ③地域完結型医療体制を実現する医療介護の連携体制は進んでいるか。

質問順位	質　問　内　容
4 議席 3 大平剛 （一問一答形式）	**1　大和地域包括医療センターの移転について** 大和地域包括医療センターは骨太の全体計画において令和９年度中の移転を予定しており、令和７年度は基本設計の費用が計上されている。しかしながら、移転場所については示されていない。 （１）計画では浦佐地区内に移転するとのことだが、移転場所はいつ、どのように決定されるのか。 （２）移転場所については、医療拠点として機能性はもちろん採算性・公共交通の確保・周辺地域の活性化につながるか等、様々な視点を持って決定されるべきと考えるが市の考え方は。 **2　市立図書館について** 新潟市を除く新潟県内 29 市町村が共同で、住民に電子書籍を貸し出す電子図書館サービスの開設に向けて準備を進めているとの報道があった。早ければ令和８年度中のサービス開始を目指しているとのことである。 （１）これまでも様々な図書館と連携し、市民の要望に応えられる体制を構築してきたと考えるが、電子図書館が開設された場合、どのような連携をしていくのか。 （２）市立図書館の役割としては地域の文化・歴史を記した資料の収集もあると考える。これらの収集についての方針は。

質問順位	質　問　内　容
5 議席 4 目黒哲也 （一問一答方式）	**1　街路樹や公園内の樹木の管理について** 街路樹は、道路や周辺の景観を快適にするほか、道路の安全確保や延焼を防ぐ防災機能、遮音や遮光、二酸化炭素吸収、さらには昆虫や小鳥の生息地になるなど、環境を守る機能や人間に潤いを与える重要な機能や役割がある。 しかしながら、場所によっては見るだけで心を痛めるようなぶつ切りや枝おろしもある。生き物としての樹木を適正に管理・育成し、街路樹の持つ機能や役割を最大限生かして、市民生活に役立てる姿勢が必要と考える。 （１）街路樹に対する市の認識について （２）今までの街路樹の管理について （３）街路樹の剪定の基準や方法について （４）今後の街路樹の整備や管理について **2　行政ポイント事業について** 南魚沼ポイント会の新ポイント制度である米っこカードが令和７年４月より導入され、行政との連携により地域経済の活性化や市民生活の向上等が期待される。 （１）行政ポイント事業を導入した目的と必要性について （２）米っこカードとの連携で期待される効果について （３）加盟店を増やすための啓発について （４）今後の展開について

質問順位	質　問　内　容
6 議席 14 寺口友彦 （一問一答方式）	**1　地盤沈下による上下水道管の調査について** 地盤沈下による上下水道管破断の危険性を調査すべきではないか。 **2　出生数減少加速化と学区再編について** 出生数減少加速化に対応して、中学校区に１つの小学校という学区再編を行政主導で速やかに進めるべきではないか。 **3　公共交通ネットワークの再編方針について** 公共交通ネットワークの再編方針に路線バス、送迎バス、市民バスの統合を盛るのか。 **4　第３次総合計画について** 人口減少対策と少子高齢化社会への対応をあらゆる分野で政策的に進めることと、歳出削減を伴う持続可能な財政運営をどう融合させるのか。

質問順位	質　問　内　容
7 議席 8 永井拓三 （一問一答方式）	**1　外国人の不動産の取得について** 外国人がビザの種類や国籍の有無にかかわらず、規制がないことで不動産の取得が自由になっており、水源や森林など日本の資源が失われてしまうといった問題が日本各地で発生している。トラブルが発生したときに日本の法律が適用できないといった問題も指摘されており、今後インバウンド観光を推進する地域として、不動産の取得に際して対策が必要だと考える。 （１）市内の外国人による不動産の購入や再開発の実態は把握できているか。 （２）市として水源地や森林などの資源を確保するため、外国人の不動産の取得に対して規制をかけるなどの対策案はあるか。 **2　六日町地域の駐車場について** 地方の交通の大半は車での移動である。中心市街地での駐車場を拡充することが期待されている。 （１）六日町駅ロータリーに送迎などで使いやすいような滞留スペースを確保できないか。 （２）中心市街地やディスポート、銭淵公園にアクセスしやすい河川駐車場などを整備してはどうか。 （３）坂戸山の麓に駐車場を整備してはどうか。

質問順位	質　問　内　容
8 議席 6 田中せつ子 （一問一答方式）	**1　障がい児支援と居場所づくりの推進について** 市内に 18 歳以上の障がい者福祉施設は７か所あるが、18 歳までの障がい児支援施設は２か所しかない。発達障がいの早期発見と支援につなげる体制整備や、誰もが安心して子育てできる居場所づくりが重要と考える。 （１）児童発達支援・放課後等デイサービスの利用状況と課題をどう評価しているか。 （２）国は令和７年度から発達障がいの早期発見に有効として５歳児健診への支援を強化すると報道されているが、当市の体制をどう整備するか。 （３）障がい児支援には保護者も含めた居場所づくりが重要と思うが、現状と今後の考えは。 **2　保育施設と小中学校の危機管理について** 今年、立川市で小学校に不審者が侵入し、暴行事件が発生した。県内では給食のアレルギー事故や蛍光灯の破片混入、漂白剤入りの水の誤飲、水酸化ナトリウムを食べさせるなどの危険な事故が続き、市民から不安視する声が届いている。 （１）保育施設、小中学校では子供の減少に伴い職員数が少ない中で、不審者対応やマニュアルどおりの訓練は十分にできているか。 （２）給食のアレルギー事故の多発や漂白剤誤飲事故等により、県教育委員会も安全管理の徹底を呼びかける通知を出したようだが、当市ではどのような対策をとったか。 （３）中学校の理科の実験で使用するような劇物の管理は徹底されているか、生徒への指導はどうか。

質問順位	質　問　内　容
9 議席 11 塩川裕紀 （一問一答方式）	**1　健康寿命延伸のための肺炎対策について** （1）現在、市で行っている健康寿命延伸のための肺炎対策は。 （2）肺炎を引き起こすウイルス感染症の中にＲＳウイルス感染症がある。年齢を問わず何度も感染するため、新生児から高齢者まで幅広い年齢層で感染するといわれている。特に重症化する高齢者に対してＲＳウイルスワクチン接種の公費助成の考えは。 **2　道徳教育について** 平成 30 年度から始まった道徳教育の現状と成果は。

質問順位	質　問　内　容
１０ 議席 １９ 桑原圭美 （一問一答方式）	**第３次南魚沼市総合計画（素案）について** 第３次南魚沼市総合計画（素案）が示された。最も重要な課題は、人口減少対策である。第２次ベビーブームの世代が最も多い人口を占める20年後、最も人口の少ない世代が市や国を支える中心的な立場になる。 人口減少による経済活動の縮小に対抗しなければ、医療、福祉の維持は難しいが、現状はその道を進んでいる。核家族化が顕著になり、雇用の場が確保されなければ、若者層の市外への流出が進む。その傍らで、外国人の流入が驚くほど進んでいる。 （１）人口減少対策の具体的な施策は。 （２）若い世代の子育てと子供の教育をどのように考えるか。 （３）地域資源を生かした産業を支え、活気のある街づくりをするための施策は。 （４）持続可能な地域医療体制の構築と高齢者福祉・介護の充実をどう考えるか。

質問順位	質　問　内　容
１１ 議席 5 梅沢道男 （一問一答方式）	**１　身寄りのない高齢者等へのサポート体制の確立を** （１）当市における身寄りのない高齢者等の葬儀の実施状況と今後の課題等について伺う。 （２）身寄りのない高齢者等への終末期も含めたサポート体制の確立に向け、対応手順書やサポートマニュアル等の作成を進める必要があるのではないか。 **２　柏崎刈羽原子力発電所の再稼動について** （１）原子力災害の発生時に、柏崎刈羽地域原子力防災協議会がとりまとめた柏崎刈羽地域の緊急時対応に基づき、避難計画を実際に運用することとなる市町村の首長として、現在の柏崎刈羽地域の緊急時対応については十分な実行性があると考えているのか伺う。 （２）令和７年５月 21 日に柏崎刈羽原発の再稼動の是非を巡り、知事が県民の意向を見極める手法の１つに挙げていた市町村長との懇談会が魚沼市で開催された。林市長も出席し、意見を述べたと思うが、どのような意見表明をしたのか伺う。

質問順位	質　問　内　容
１２ 議席 7 中沢道夫 （複合型一問一答方式）	**１　国民健康保険税の引き下げについて** （１）県への納付金は、令和６年度に比べ１人あたり 0.87％の増になっているが、令和７年度に 27％を超える税率改定が必要だった理由を伺う。 （２）負担軽減のため国民健康保険運営主体の県に、一般会計からの繰り入れを行うよう求める考えはないか伺う。 （３）市の一般会計からの法定外繰り入れは行わないとのことだが、枯渇してきている基金への繰り入れを行う考えはないか伺う。 （４）県は国民健康保険料水準の統一について、令和８年度以降令和 11 年度までに納付金ベースでの統一を目指しているが、市としての対応を伺う。 **２　米の価格高騰と農家への支援について** （１）今回の米の価格高騰の要因をどのように捉えているか伺う。 （２）米の価格高騰の下でも農家の離農は進んでいるが、要因をどのように捉えているか伺う。 （３）農家が安心して増産に励み、安定した価格で国民に供給するためには､政府が現在の米政策を転換することが必要だと思うが市長の考えを伺う。 （４）米政策は国全体の問題だが、米作りを続けたいと願う農家に対して、市独自の新たな支援を行う考えはないか伺う。

質問順位	質　問　内　容
１３ 議席 １８ 牧野晶 （一問一答方式）	**１　市の交流人口を増やせ** 固定資産税の市外課税者と当市へのふるさと納税者に、市内施設等の割引券を同封せよ。 **２　住宅密集地の線路に防音壁を** ほくほく線は、十日町駅周辺の市街地には防音壁があるが、六日町駅周辺の市街地には防音壁がない。電車が運行することは地域にとってありがたいことだが、六日町駅を始発とするほくほく線の列車は５時 12 分発であり近隣住民の一部で苦痛となっている。六日町駅周辺の一部区間に防音壁の整備を検討すべきだと考えるが。

質問順位	質　問　内　容
１４ 議席 １５ 中沢一博 （一問一答方式）	**１　市民の暮らしを守り抜く経済・物価高対策に早急な施策を** 物価高が続く中、市民は生活現場で闘っている。 市内企業も物価上昇に見合うよう賃金を上げて応援したいが、なかなか厳しいのが現実である。中小企業を支える制度と共に、市民の生活現場をいかに守るか、全力を挙げての取組を伺う。 （１）経済・物価高対策に対して、今回の国の重点支援交付金は、当市はどれ程と考えてよいか。また具体的支援内容は。 （２）市内の企業の賃上げ状況は。 （３）物価高に苦しむ家計支援への対策は。 （４）当市の基幹産業の一つである観光産業は、休業や廃業が増えている。危機感が生じる中、観光産業の存続・発展に向けた具体的な経営戦略をもって老朽化した設備等の補助金制度創設を。 **２　学校体育館への空調設置の加速を** 自然災害が激甚・頻発化する中、避難所としても活用される体育館への空調の設置は急務である。また、児童生徒の熱中症対策としても必要と考える。 今、国も特別交付金で設置の加速化を大きく後押ししており、市として体育館への設置を急ぐ必要があると考えるが。

質問順位	質　問　内　容
１５ 議席 １７ 塩谷寿雄 （一問一答方式）	**南魚沼市の取組について** （１）地域コミュニティについて 市長は各地区に職員２人を配置する考えを公約に掲げたが、どう活用するのか。また市民バスを含む今後の地域コミュニティについて、予算の増額の考えはあるか。 （２）ロケツーリズムに取り組むべき。 ①市内でのロケ、取材などメディアに取り上げられる件数を全て把握しているか。 ②ロケツーリズム協議会へ職員の派遣を。 ③市で動画配信を行っている事業もあるが、ロケに来てもらうための動画をつくるべき。 ④市民の協力を得ることで、メディアへの取り上げが多くなると思うがどうか。 ⑤最後は市長のトップセールスが決め手となるが、いろいろな場面へ出ていく考えはあるか。

質問順位	質　問　内　容
１６ 議席 9 勝又貞夫 （一問一答方式）	**１　ふるさと納税について** （１）年度を追うごとにふるさと納税の寄附額は増えてきているが、令和７年度の受付状況はどうかを問う。 （２）連日のように米不足のニュースが流れているが、わが市のふるさと納税の返礼品については、十分その量を確保できるかどうか、その見通しについて問う。 （３）返礼品の納入業者・団体・生産者などに対する品質管理面での統一性の指導は、どうなっているかを問う。 （４）ふるさと応援隊は３万人を超えている。この人たちに対するアプローチとして、観光面での誘客についての考え方を問う。 **２　農業用機械整備支援事業について** （１）令和７年４月１日から受付が始まったこの補助金は、大変好評であったと聞いている。今後も継続してほしいとの声があるが、一般的な農業用機械の耐用年数を考えれば、７年ほど続けるべきではないか。 （２）農業用機械の新規購入時のみに限定せず、機械の修理費にも補助金を検討して欲しいとの声があるが、この点についての前向きな考え方を問う。